

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス日田教室		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和7年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・柳沢運動プログラムを用いた運動遊び+静かな遊び	・支持力・跳躍力・懸垂力の3つの要素を踏まえた運動遊びを行い、その後に静かな活動の時間を組み合わせている。	・1人ひとりの児童のやる気を起こさせるような運動遊びを提供していく。
2	・社会性を養うための外出イベント。	・地域の方との繋がりを深めるよう、子ども食堂などに出向き交流を図っている。	・今まで行けてなかった所でも、児童の社会性を養う観点からも、外出イベントを計画していく。
3	・地域イベントの参加を積極的に行っている。	・案内があれば積極的に参加するようにしている。	・近隣の地域の取組もないか確認していく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者同士の交流する機会が少ない。	・保護者の意向を確認できていなかった。	・アンケートを取って保護者の意向を確認し、必要があれば保護者会を発足する。
2	・運動療育と学習支援を両立している時の児童の集中力やペースが乱れてしまうことがある。	・同じスペースを使用している為場合によっては、スペースや活動を分けた療育を提供していく。	・児童の活動に応じたスペース環境を整えていく。
3	・運動療育を個々のレベルに合わせたものにしていない。	・下校時間などの関係で皆一律に同じ運動療育になっている。	・同じ運動あそびでも個々のレベルに応じた応用などをさせると良い。